

航海マネジメント学実験1(3年前期・必修)

(航海学 基礎実験)

2017年度 前学期

担当: 若林伸和 ・ 村井康二 ・ 井川晶裕

実施場所:

海図室(学术交流棟3階): 制御1 制御2 制御3
マネジメント実験室:(北) 電気・電子計測 電気回路 電子回路
(南) コンピュータの基礎※ 無線通信運用
深江丸船橋(作業服着用): ECDISとAIS

※コンピュータ基礎の実験には、電気電子工学(2年)の教科書を持参すること。

<http://cs.maritime.kobe-u.ac.jp/waka/course/2017/>

注意1:

実験はチームで実施するテーマも多く、自己都合による欠席は認められません。

すべての実験への出席と報告書の提出(受理・合格)と期末確認テストの合格が単位認定の必須条件です。

1回でも欠席した場合は、科目の成績評価が「不可」となり、次年度以降、科目の再履修(すべてのテーマを実施)が必要となります。

忌引き、伝染病等による出席停止等、やむを得ない場合以外、一切の欠席は認められません。

→ その場合でも必ず、診断書等を持参し、教務係で手続きをすること

課外活動等は当然、自己都合による欠席に該当します。

神戸大学学生向けポータルサイト

うりぼーポータル

よくある質問と回答 より

http://www.office.kobe-u.ac.jp/stdnt-kymsys/student/q_a/

Q. 公欠・病欠はありますか？

A. 本学には公欠制度はありません。

ただし、特例措置として2011年3月に発生した東日本大震災及び2016年4月に発生した熊本地震に関するボランティア活動への参加による授業の欠席については公欠を願い出ることができますので、授業を開講している学部等の教務学生担当係に申し出てください。

また、裁判員制度により講義及び定期試験等をやむを得ず欠席する場合には、所属学部の教務学生担当係に申し出てください。

短期的な欠席(忌引き等)については、授業を開講している学部等の教務学生担当係に申し出てください。

また、2週間以上欠席する場合は「欠席届」を所属学部の教務学生担当係へ提出してください。

注意1: (つづき)

やむを得ない理由で欠席した場合は、**再実験**を行い最終期限までにレポートを提出し合格となることが必要。

三海通(講義形式)のテーマも同様、欠席の場合は補講または補習課題を課します。

注意2:

実験には、高価な精密機器を使用します。また、海図室ではPCを使用します。

→ 実験室・海図室での**飲食は厳禁**です。

深江丸で実施するテーマでは、作業服および運動靴等を着用すること。

レポート受理及び合格・再提出の表記について

* レポートを受理した場合、実験項目欄に受理した日付を記入します。

例 4/18

* 合格の場合は日付の後に「合」印を押します。

例 4/18 合

* 再提出の場合は日付の後に縦線「|」を引きます。

例 4/18 |

以上、各自レポート受理状況を確認してください。
(すべてのレポートの合格が成績評価の条件です)

不正行為は神戸大学の規定により**厳しく処分**されます。

成績評価のため、
最終〆切: **7月28日** ... すべてのレポートが合格していること

○レポート

指定の期限までに提出 (基本的に翌週金曜**12:30厳守**)

提出先: 2号館3階・井川技官(不在時は部屋のドアポスト)

○手書きとする

結果の**写真(USBに記録した画像をプリントしたものも含む)**は印刷して貼りつけてもよい。表, グラフは**手書きのみ**

○内容

表紙(右の例参照)

1. 目的
2. 原理
3. 方法
4. 使用器具
5. 結果
6. 考察 (**感想ではない**)

(表紙)
実験題目
番号 ○○○○
氏名 □□□□
実験日 年 月 日
提出日 年 月 日
共同実験者 ▼▼▼▼

○表とグラフ

表, グラフには必ず **番号** と **キャプション** をつける (表は上, 図は下)

単位があるものは, 必ず単位をつける

(例)

表1 電流—電圧特性

項目[単位]	項目[単位]

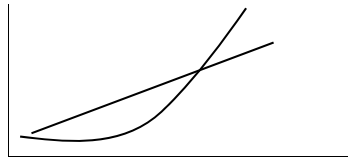


図1 電流—電圧特性

○グラフの書き方: 必ず方眼紙を用いること

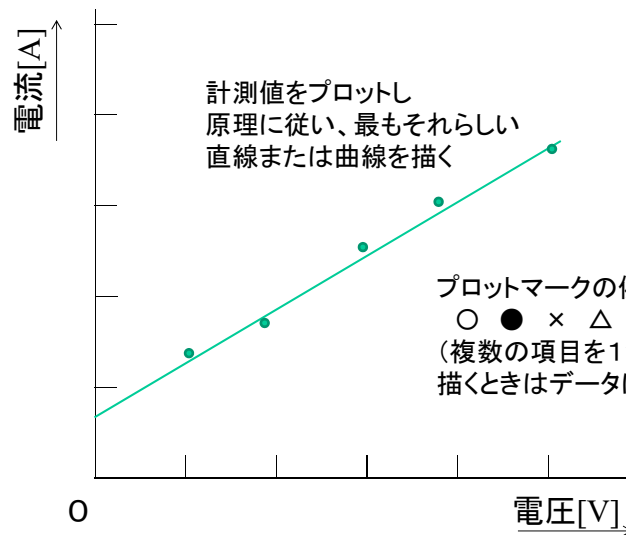


図1 電流—電圧特性